



令和5年6月2日（金）

東彼杵中だより

文責：校長 正尾 敏

第12号

東彼杵中学校の強みII「授業改善(ICT活用)」

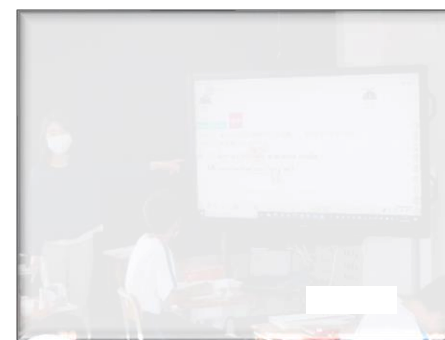
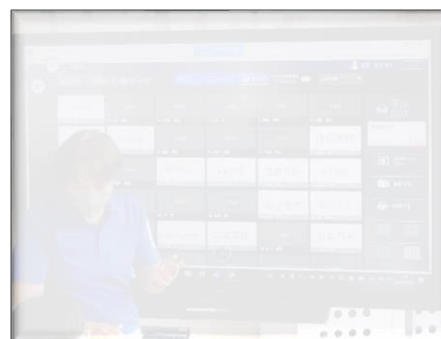
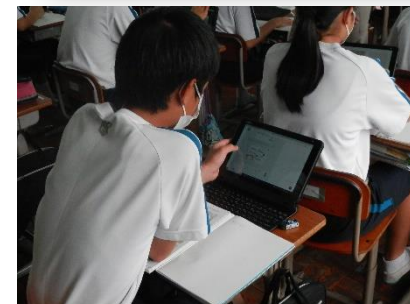
新学習指導要領が実施され、中学校では3年目になりました。これまで2年間、先生方の合言葉は「授業改善」といった言葉に象徴されます。単に授業スタイルを変えるだけでなく、授業によって生徒に必要な資質・能力が育っているかを校内研修でも検証してきました。授業を参観していると、確かに先生方の授業は変わってきていることが実感されます。生徒たちは自分の課題を見出し、課題解決に取り組み、学習を振り返る、そして次の課題を見出すといった学びのサイクルで学習を展開するようになってきています。

この学習を進める上で重要なのが、一人一台タブレットを効果的に活用することです。昨年度の全国学力調査の質問紙調査では本町におけるICTの活用は県内でも群を抜いて高かったという結果がでています。授業におけるICTの活用により、生徒たちは主体的に学びに向かう力が育ってきています。

特に数学科・英語科の授業においては、生徒のタブレットに生徒用デジタル教科書が導入されており、生徒はタブレットを文房具のように当たり前に活用しています。2年生の社会科の授業では、人物を調べる作業において、教師からの指示がなくても、普通に生徒はタブレットを操作し、学習に取り組んでいました。これからは、教師がタブレットの操作を指示するのではなく、生徒の探究学習においては、生徒自らが自分の意思でタブレットを操作しながら探究していくことが必要だと考えられます。

私たちが中学生の時代には考えられなかった授業が今、繰り広げられています。是非、授業参観等の折に、ICTを活用した生徒の意見やつぶやきを生かす新たな授業をご覧になっていただけたらと思います。

ICTを活用した授業の様子を紹介します



東彼杵中 校訓

「夢に向かって」

探究・協働・仁愛

生徒会 テーマ
[翔]

新しい自分へChance・
Challenge・Change